

[産業建設常任委員会所管関係]

No. 1	震災等による道路・下水道等の復旧に関すること
意見・質問・要望等	水道工事後の道路が沈下しているため、雨等が降った後は水溜りになり、交通安全上危険です。(ヨークベニマル脇から江尻に抜ける道路等)【桜地区】
当日の回答	道路パトロール等、市でやるべきことだと伝えます。
今後の取組み	道路の段差は、平成25年度中に道路維持業務で修繕して参りますので、今少しお時間をください。【土木課】
No. 2	震災等による道路・下水道等の復旧に関すること
意見・質問・要望等	商店街区の下水道復旧工事ですが、できるだけ事前に細かく工期・工事の内容・施工方法を教えて欲しいです。【角田地区(中央ブロック)】
当日の回答	業者の対応に違いがあるようです。下水道課に話をしておきます。
今後の取組み	市中心部では複数の下水道復旧工事が進められます。市の発注段階で、ある程度混雑を緩和するよう調整しておりますが、それでも複数の工事が同時に進められる場合もあります。 工事を進める業者間で調整し、担当業者からその内容を関係する住民の皆様にお知らせしております。【下水道課】
No. 3	震災等による道路・下水道等の復旧に関すること
意見・質問・要望等	①駅前花島線の道路の補修工事は行うのですか。 ②関ノ内地区の生活道路の残りの舗装工事はそれぞれいつやるのですか。【横倉地区】
当日の回答	①平成24年度分として、1千万円の予算で尾袋川の橋から200m分を予定しています。 ②平成25年度の予算で計画中です(左関線)。
今後の取組み	議員回答のとおりです。【土木課】
No. 4	震災等による道路・下水道等の復旧に関すること
意見・質問・要望等	復旧工事は簡易工事なのですか。1年も経過すると悪くなっています。お粗末な工事です。【西根地区】
当日の回答	本格事業は平成25年度からになると思います。資材が不足していることもありますが、インフラ整備を充分行うように伝えます。
今後の取組み	ご指摘の箇所がどこかは、わかりませんが、復旧工事は原状回復となります。【土木課】
No. 5	道路、公園等に関すること
意見・質問・要望等	宅地化になっているのにほこだて仏光堂付近が未舗装になっています。大型店舗もでき、人通りが多くなっています。環境を整備する観点からも是非早く舗装して欲しいです。【角田地区(田町ブロック)】
当日の回答	土木課に伝えます。
今後の取組み	舗装されていない現地の確認を行いました。今後検討していきます。【土木課】

No.6

道路、公園等に関すること

意見・質問・要望等

都市計画道路の見直しをなぜしないのですか。東西線、南北線、いずれも中途半端ではないですか。【小田地区】

当日の回答

線引き、見直しを計画しています。若干街なかの道路を見直しをかける作業をしています。県と調整も必要になります。

今後の取組み

平成24年度において、都市計画マスタープランが策定しました。この都市計画マスタープランを受けて、平成25年、26年で都市計画道路を見直す予定となっております。【土木課】

No.7

道路、公園等に関すること

意見・質問・要望等

①寺前～大沼～丸森間の道路の整備と路線拡張等に関し、その建設の進行状況はどうなっていますか。

②具体的な方向性・計画を市民に知らせないのはなぜですか。私たちはそれを知りたいです。【角田地区(南ブロック)】

当日の回答

①住社橋橋梁事業について、平成22年～29年にかけての長いスパンの事業であります。今年度は、主に用地購入・移転補償等に予算をつけて行ってまいります。

②住社橋橋梁事業は、経済対策で予算がついたものです。大きな橋を架け、野田地区を通り、将来的には長泉寺前の道路と繋ぐという構想です。一つの幹線道路をつくっていくというものです。

今後の取組み

事業期間については平成22年度から平成29年度までとなっております。

平成23年度までに、道路部及び橋梁部の測量や土質調査、詳細設計が完了しており、平成24年度より用地買収・物件補償を行っております。

平成29年度の完成を目指し、平成25年度から工事行なう予定です。

なお、平成25年度は橋梁の下部工事(橋台・橋脚)着手予定です。実施及び進捗状況について

平成22年度	(仮)大沼野田前線道路測量調査設計業務 住社橋橋梁予備設計 住社橋地質調査業務
平成23年度	住社橋橋梁詳細設計 住社橋地質調査業務
平成24年度	用地買収・補償
平成25年度	橋梁下部工等 用地買収・補償【土木課】

No.8

道路、公園等に関すること

意見・質問・要望等

街灯(防犯灯)の増設をして欲しいです。【角田地区(南ブロック)】

当日の回答

具体的な位置を示して、区長さんを通じて要望してください。

今後の取組み

道路照明灯の新規増設要望については、土木課、防犯灯については、防災安全課が所管課となっておりますので、道路交通上及び防犯上、必要な箇所があれば、所管課に行政区長さんを通じて、設置要望書を提出していただくことにしています。その後、職員が現地調査を行い、必要性が認められれば設置します。【土木課】

No. 9

道路、公園等に関すること

意見・質問・要望等

角田山元トンネルのおかげで交通量が増えているが、山元インターに向かう看板が少ないのではないかと、警察署の交差点などに増やしてはどうですか。【角田地区(東ブロック)】

当日の回答

看板については要望として、関係機関に相談いたします。

今後の取組み

山元インターチェンジの案内看板設置の要望についてですが、道路管理者毎に対応することになりますので、県道分については、宮城県大河原土木事務所に要望します。
また、接続する市道は、角田市で検討していきます。【土木課】

No. 10

道路、公園等に関すること

意見・質問・要望等

錦町の町尻、中央公園がまだ未整備です。早く整備して頂くようお願いいたします。【角田地区(新丁ブロック)】

当日の回答

都市計画審議会にプランの素案が出ています。市民の皆様説明を行うとのこと。街路灯・沿道など課題がありますので、議会でもチェックしていきたいと思っております。

今後の取組み

都市計画マスタープランが平成24年度に策定されました。都市公園の整備につきましては、町尻地区区画整理事業で換地されている公園が最初に整備予定となっておりますので、順次整備していく予定となっております。【土木課】

No. 11

道路、公園等に関すること

意見・質問・要望等

①金ヶ瀬さくら大橋の開通に当たり、どんなセレモニーが計画されているのですか。また、現在でも交通量が増えています。トンネルが開通すると更に増えると思います。『熊野神社』から『産直市場あぐりっと』の間はガードレールが無く、現に交通事故も起きています。安全面を見直してもらいたいと思います。(場所:毛萱字直田)

②西根13区近くの安全面もお願いします。クリーンセンターが供用開始されれば交通量が増えると思いますので、考えてもらいたいです。【西根地区】

当日の回答

①セレモニーは4月2日、県主催で行われています。道路に関しては、ガードレール、信号等の安全面については、市に伝えます。

②市に伝えます。

今後の取組み

①金ヶ瀬さくら大橋の開通におけるセレモニーですが、大河原町が主催するもので、正式名称は「仙南東部地区広域農道 金ヶ瀬さくら大橋・大谷こ線橋開通式」で、4月2日に式典が開催されました。
内容は、アトラクションに始まり、式辞やあいさつ等があり、最後に親子3代渡り初め行いました。【農政課】

ガードレール設置箇所について現地調査を行い、カーブの箇所については、平成24年度で対応しました。【土木課】

②クリーンセンターが供用開始すると、多くのごみ収集車やクリーンセンター関係車両等が通行することと思います。交通安全対策としては、道路の整備と住民への交通安全に対する意識高揚が必要だと思います。

交通安全協会、交通安全母の会連合会西根支部等が連携、協力しチラシの配布や交通安全運動活動をとおして地区全体で交通安全を推進していきたいと思っております。【防災安全課】

平成24年度にガードレールと視線誘導標(デリネーター)を設置しました。【土木課】

意見・質問・要望等

①通学路にもなっているのに、西根10区の後田溜池の場所は道路にひびが入っていて、通行しないよう標識が置かれています。随分たっているのにどうなっているのですか。

また、西根11区の受地のところの県道のひび割れ破損も手付かずです。交通量が増えており、事故が起きないうちに補修して欲しいです。

②後田溜池の道は、震災で空いた部分なので災害復旧で直すと言っていました、どうなっているのですか。【西根地区】

当日の回答

①西根10区の道路は、計画には入っているが、優先順位を上げてもらい早くするよう要望します。

西根11区の道路は、県職員が近くの人の所に伺って話しているようですので、近々、補修すると思います。

②地元企業優先で発注しているの、仕事が重なっています。3月中にできないことがあるかもしれません。

今後の取組み

①、②について、後田ため池の堤防になっている箇所は、平成24年度で完成しています。また、県道のひび割れ破損は宮城県大河原土木事務所に要望していきます。【土木課】

意見・質問・要望等

①枝野小学校の南側は桜井川と民家にはさまれており、歩道をとれません。桜井川は昭和38年に護岸工事をしたきりで、50年間そのままになっています。一級河川は面倒だと言って何もしたがりませんが、小学校南側の300mをなんとかしてほしいです。

②桜井川の南側の土手を遊歩道にすればいいのではないのでしょうか。車とも交わることもなく、かつ現実的です。【枝野地区】

当日の回答

①市長は桜井川橋から上の側溝を修理することで対応することを考えているようです。スマートインターができるので交通量が増えることとなります。住民には迷惑をかけないようにすると言っていますが、県との話し合いになるので、現時点ではっきりとしたことは言えません。

②一つの提案として受け止めます。

今後の取組み

枝野小学校南側の道路は県道角田山元線となっており、宮城県には拡幅や歩道設置の要望をこれまでも行っておりますが、改めて要望して参ります。【土木課】

No. 14

道路、公園等に関すること

意見・質問・要望等

市道の管理において、車の破損や身体的なけが等が発生した場合の補償規定や基準及び保険等はどのようになっているのか伺います。【角田地区(豊室・老ヶ崎ブロック)】

当日の回答

震災後、市が管理する道路の陥没や破損により、車のタイヤやホイール等の賠償請求が増えております。昨年も2件の補償があり、それらは一定の保障基準や規定に則り話し合いがもたれ、その結果については議会に報告がなされております。それらを補償致します財源としては、社団法人全国市有物件災害共済会に加盟しており、それら個別事案により賠償保険として支払われますが、今後も市道の管理については安全の徹底を図ってまいります。

今後の取組み

道路管理者に国家賠償法や民法など、法律上の損害賠償の責任があると判断された場合は、市が入っている道路賠償責任保険(社団法人全国市有物件災害共済会)等で対応しています。

現在、道路維持補修業務を隈東・隈西地区にわけて、2社に年間を通じて、日常パトロール行っておりますが、路面のいたみは、地震によるものや老朽化したものなど、相当あります。

今後とも、車の運転等事故にあわないよう、よろしく申し上げます。

【土木課】

No. 15

道路、公園等に関すること

意見・質問・要望等

小田川河川公園を立派に作りました。花も植えました。さつきも植えました。そのままです。会員が草を取ったり、花を植えたりしていますが、なんのこともない。よくやっているとか感謝の言葉もないです。【角田地区(南ブロック)】

当日の回答

確認させていただきます。

今後の取組み

小田川河川公園の環境美化にご協力いただきましてありがとうございます。また、花いっぱい運動にも参加していただき、ありがとうございます。【土木課】

No. 16

除融雪に関すること

意見・質問・要望等

①道路の凍結場所に撒く融雪材をもらえると聞きましたが、撒く場所は自由なんですか。

②もらえる量はどれくらいですか。また、いつでももらえるのですか。【桜地区】

当日の回答

①自由です。

②市役所土木課に確認してください。

今後の取組み

①融雪剤の散布は、原則として市道に限定しています。区長さん等と相談の上、申し込みを願います。

②配布数量は、おおむね個人で5袋、行政区、その他団体については10袋を上限に配布しています。【土木課】

意見・質問・要望等

①県道をはじめ、旧バス路線などは除雪されているが、多くの街中の市道は充分除雪されているとは言えません。一律にやらないという考え方なのですか。きめ細かく迅速に…と述べていますが、どういうことですか。

②「きめ細かく…」とは、合理的基準だと思います。雪を寄せるスペース(歩道・側溝など)がある場所と、商店街のように道路と歩道の区別の無い場所とでは、雪の寄せ方に一考を要するのではないですか。また、商店街の除雪方法に関しては、大河原町辺りを参考にして欲しいです。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答

①現在、業者に委託し実施していますが、それでも不足があれば、区長さんからの申し出により、各々対応しているのが実態です。

②既に本年度除雪の予算600万円を1月14～16日で使い果たしており、現在、追加補正を予定していますが、予算の拡充のみでなく、今、ご指摘のあったように、除雪の基準や方法についても、緊急課題として当局に伝えます。

今後の取組み

角田市内の街中は、一部除雪していない路線がありますが、当課としても2月21日に該当路線に係る行政区長に集まっていたいただき、現在の未実施路線については、除雪を実施するが、除雪作業の際に軒下にはき分けて、たまった雪については、地域住民で取り除いてもらうよう、行政区でもはたらきかけを行ってもらうこととしています。

凍結した路線については、土木課でパトロールを行い、取り除くことを確認しています。

今後も、住民のみなさんのご協力をいただきながら、除雪を実施していきます。【土木課】

意見・質問・要望等

除雪の件ですが、市内(天神町・仲町・本町)では除雪をしないで欲しいということですが、3田町(西田町・東田町・横田町)は除雪して欲しいです。土木課へ依頼もしました。

東田町はプレスコキクちもあり、お客さんが沢山来るので除雪して欲しいです。その地区ごとに事情もあると思いますので考慮していただきたいです。【角田地区(田町ブロック)】

当日の回答

土木課に申し伝えます。

今後の取組み

角田市内の街中は、一部除雪していない路線がありますが、当課としても2月21日に該当路線に係る行政区長に集まっていたいただき、現在の未実施路線については、除雪を実施するが、除雪作業の際に軒下にはき分けて、たまった雪については、地域住民で取り除いてもらうよう、行政区でもはたらきかけを行ってもらうこととしています。

凍結した路線については、土木課でパトロールを行い、取り除くことを確認しています。

今後も、住民のみなさんの協力をいただきながら、除雪を実施して

意見・質問・要望等

新丁から加藤会館の細い道は、通学路になっていますので優先的に除雪して欲しいです。【角田地区(田町ブロック)】

当日の回答

今後、きめ細やかな除雪をするため、各地区の区長さん等と協議・再検討するように伝えます。学校周辺の通学路の除雪について、検討しております。

今後の取組み

現在、除雪の路線となっていませんが、今後、検討して参ります。【土木課】

意見・質問・要望等

- ①花島及び東花島の市道の除雪体制は、どの業者に委託しておりますか。
- ②業者委託されている市道と委託されていない市道の区別はどのようになっていますか。
- ③全体を業者委託だけで対応しきれません。ボランティアで除雪してくれている皆さんにガソリン代など支払えないのですか。
- ④融雪剤を区会等に預けて市民に散布いただく方式をとるべきではないですか。
- ⑤積雪が多くなならない段階で除雪出動すれば効率よく除雪できるのではないですか。【北郷地区】

当日の回答

- ①佐藤建設です。(平成24年度角田市除雪区分図をもって説明した。)
- ②幹線道路を主体に委託されているものと思います。
- ③今日、『除融雪に関すること』で政策を4点ほど説明しておりますが、ご指摘の点についても議会で議論してきておりまして、まだ具体的な施策まで至っていない段階です。なお、引き続き検討してまいります。
- ④現状、融雪剤は、要望すれば配布(引き取り)出来る体制にあります。除雪に関し(融雪剤の配布など)周知が不十分な点について、土木課に徹底するよう伝達します。また、幹線道路外の部分の除雪については、区長さんからも市役所に連絡・要望して頂きたいと思っております。
- ⑤7cm積雪が出動基準となっておりますが、なお、当局や県にも要望しておきます。※参考までに、今回の降雪時の出動状況についても説明しました。

今後の取組み

- ①花島及び東花島の区域は、佐藤建設株式会社が担当しています。
- ②主として幹線道路を除雪対象路線としています。
- ③ボランティアでの除雪に対する対応については、地区振興協議会等とも相談して参りたいと考えています。
- ④融雪剤散布に協力していただける個人や団体、行政区については、12月中旬に融雪剤を配達し、市道に散布していただいています。
- ⑤積雪が7cmとなった時点での出動になります。なお、1回の除雪出動で市全域を除雪しますと、250万円ほどの経費がかかります。また、早い段階で除雪に入ると、さらに積雪となり、同じ箇所を2度除雪することにもなりますので、状況を判断して実施しています。【土木課】

意見・質問・要望等

- ①藤尾小学校の半田川付近や峠、藤尾小学校から農協まで等の除雪が全く行われていない所があります。通学路にもなるので除雪してください。どの業者が除雪する割り当てになっているのか明確にしてほしいです。全然除雪をしない業者も中にはあると聞いています。
- ②風呂地区は4年間、除雪をされていません。朝、通勤ができるような除雪計画を作って欲しいです。
- ③角田市ではトラクターを持っている人が通学路を15年間除雪して、表彰状1枚だけですが、丸森町では数年前からメートル当たりの単価で個人に委託し、個人が除雪しており、通勤に支障が無いそうですし、業者に頼むよりも効率的です。除雪は、役所・業者・行政区長等と打ち合わせをし、効率よく行って欲しいです。
- ④角田市内は除雪していないので町に行きたくありません。なぜ、街中は除雪をしないのですか。角田市で買い物もする気になれません。
- ⑤枝野1区から金津中学校までの通学路について、除雪したのか分からないが、今でもでこぼこで歩ける状態ではありません。除雪状況をチェックすべきです。
- ⑥除雪する業者が13業者から16業者になったことを行政区長は分かっているといけません。どの業者がどの路線を除雪しているか分からないと、除雪の要望を市に対してできません。
- ⑦角田市地域振興公社には大きな除雪機械があると聞いています。角田橋や東根橋の歩道等の除雪に活用すべきだと思いますが、利用されていないのはなぜですか。子ども達が橋の歩道まで来て、自転車で通れないので自転車を乗り捨ててありました。その様な状況で、県とか市とか言っている場合ではありません。
- ⑧農機具で歩道等を除雪する場合、道路交通法に違反する場合が出てくると思います。役所から警察に確認して欲しいです。【藤尾地区】

当日の回答

市内道路540kmの除雪をしています。市民生活を優先するならば、時間外でも除雪をしなければなりません。同じ場所を3回、4回と除雪をしなければならぬと思いますし、個人の農機具を使用し除雪をしていただいた方に対して油代を支給するなど検討するよう市に要望したいと思います。

融雪剤についてですが、ある程度、気温が上昇しないと効果ができません。良い方策を検討していかなければならないと思います。今回出されたご意見は、市に伝え、報告書で回答させていただきます。

今後の取組み

①平成24年度では市内16業者と角田市直営3班体制で、除雪区域を振り分けて実施しています。
ご指摘のあったような件は、業者により除雪作業に差が生じないように指導して参ります。

②～⑥角田市内の街中は、一部除雪していない路線がありますが、当課としても2月21日に該当路線に関係する行政区長に集まっていたいただき、現在の未実施路線については、除雪を実施するが、除雪作業の際には軒下にはき分けて、たまった雪については、地域住民で取り除いてもらうよう、行政区でもはたらきかけを行ってもらうこと、凍結した路線については、土木課でパトロールを行い、取り除くことを確認しておりますので、今後、住民と協力しながら、除雪を実施していきます。

⑦角田市地域振興公社にある重機は、使用目的が草刈機ですので、除雪には使用できません。また、歩道については、角田駅前の駅前大通線のみとなっており、その他の歩道の除雪までは、手がま

わらないのが実情です。歩道の除雪については、市民の方の協力をお願いするなど、今後検討します。【土木課】

⑧警察に確認するには、農機具の種類、除雪用器具はどのような物を使用しているか具体的に分からないと警察としてもなかなか答えられないと思います。

できれば機械の種類とか使用する際の状況を直接警察の交通課に説明して聞いていただければと思います。【防災安全課】

No. 22

除融雪に関すること

意見・質問・要望等

①委託業者が13社から16社に増やすのは良いが、幹線道路(県道)は早いですが、市道、枝線も生活区域なので早く除雪して欲しいです。

②除雪作業は縦割り行政そのもので、いかがなものか。自治センター周辺も除雪の対象にして欲しいです。

③小田川の堤防に県土木の除雪機械が休んでいます。市道に利用できないのですか。

④市では降雪量をどこで計測基準としているのですか。山の内地区では30cmを超えました。【小田地区】

当日の回答

①市でも努力をしていることとは思いますが、今回、長時間の降雪状況もあり、万遍なくいかなかったのかもしれない。完了確認も含めてきめ細かな除雪を要望しておきます。

②除雪区分図外の公共施設等の除雪を要望しておきます。

③調査してみます。

④調べて報告します。

今後の取組み

①②現在、16社及び市の直営で除雪対応していますが、幹線道路以外の路線までは、手がまわらない状況です。今後、委託業者の数を増やせるよう努めてまいります。

③県所有の除雪用重機のため、利用はできません。

④除雪出動基準は積雪7センチメートルとしておりますが、測定場所は限定しておりません。積雪量が多い西根、小田の山沿いをパトロールして除雪対応の判断をしております。【土木課】

意見・質問・要望等

- ①除雪の際に、マンホールなどがあり、簡単に出来ない状況です。業者も困っています。その改善策はどのようなのですか。効率的な除雪の方法があるのではないですか。改善策を研究してみてください。
- ②笠島の道路上で、雪かきしていて、側溝の上の鉄板が半分に折れていました。撤去しましたか。
- ③市は、降雪が7cm以上ですが、県道の場合はどうなのですか。この前の大雪の時、東南町の県道は除雪しなかった。どうなっていますか。
- ④先の大雪の時、館下から高校までの歩道はきれいに除雪されました。小学校周辺、立町あたりはそうでもなかったです。業者にどのように依頼しているかわからないが歩道はやらなければならないと思います。その管理を徹底してもらいたいです。
- ⑤学校周辺の通学路で南側で日陰のところに危険な場所があります。また、近頃の子どもは長靴を履かない子もいます。きちんと教育して欲しいです。【角田地区(南ブロック)】

当日の回答

- ①確かに、震災の影響で各所で工事をやっています。凸凹がいっぱいあります。業者の悩みがあったと。雪をかき部分が高くしてはかかなければいけない状況で、雪が残り市民の皆様から苦情がきます。除雪に関し、さらに検討する余地があると考えます。
- ②現場にカラーコーンを置いて、注意を促している状況です。即、対応するよう、当局に話をします。
- ③県道に関しては、市内の3業者に委託しています。確認します。
- ④要望として承ります。当局にお伝えします。実施したかどうか確認します。
- ⑤そのようなところもやっていくことが必要かと考えます。雪が降ったら長靴をはかせるのは親の責任ではないかと思えます。

今後の取組み

- ①除雪が始まる前に、除雪委託業者には、担当する除雪区域の事前調査をしてもらい、障害のある箇所を認識していただいております。ご指摘のあった件は、委託業者とも十分打合せをしながら、進めて参ります。
- ②鉄板については修繕を依頼しておりますので、今少しお時間をください。
- ③県道は、5cmから10cm以上の積雪により、除雪となっております。除雪の有無については、県に確認します。
- ④高校周辺の歩道は、ボランティアの方が、除雪していただいと聞いております。歩道の除雪については、角田駅前前の駅前大通線のみとなっております。その他の歩道の除雪までは、手がまわらないため、市民の皆様のご協力をいただきたいと思いますと考えております。
- ⑤学校周辺の路線については、重点的に除雪や融雪剤散布などを実施していこうと考えております。【土木課】

意見・質問・要望等

除雪で、仲町通り田町通りなど市内中心部の除雪が行われていない、どのようになっているのですか。【角田地区(東ブロック)】

当日の回答

7cm以上の積雪で除雪することになっているが、ご指摘の地域は現在除雪をしていません。除雪のやり方、捨て場がないので搬出先の確保、寄せておく場所の借り入れなど、検討が必要です。

今後の取組み

7cm以上の積雪があった場合に除雪出動をしますが、当該箇所は旧国県道の時代にグレーダによる除雪を行ったところ、除雪した雪が軒下にたまり、苦情が寄せられ、それ以後、除雪をしていない経過がありました。当課としても2月21日に該当路線に関係する行政区長に集まっていたが、現在の未実施路線については、除雪を実施するが、除雪作業の際に軒下にはき分けて、たまった雪については、地域住民で取り除いてもらうよう、行政区でもはたらきかけを行ってもらうこと、凍結した路線については、土木課でパトロールを行い、取り除くことを確認しておりますので、今後、住民と協力しながら、除雪を実施していきます。【土木課】

意見・質問・要望等

除雪箇所の優先順位はどうなっていますか。登下校の子供たちの安全を優先すべきではないですか。【角田地区(野田ブロック)】

当日の回答

除雪業者を3業者増やし、学校周辺通学路等の一部の歩道の除雪を実施します。また、県管理となっている、角田橋・東根橋の歩道の除雪について、さらに強く要望します。

現在、除融雪業務に参加していない業者にも参加していただき、さらに円滑な除融雪業務が展開できるよう検討します。

角中・角小は、周辺歩道も除雪予定です。改善点があれば担当の土木課に要望します。

今後の取組み

スクールバス路線については、市内小中学校の児童生徒の通学に支障が出ないように、優先的に除雪を実施するように努力しているところです。現在、歩道については、角田駅前前の駅前大通線のみとなっており、その他の歩道の除雪までは、手がまわらないため、市民の皆様のご協力をいただきたいと考えております。【土木課】

意見・質問・要望等

市道ではあるが袋小路になっているところは除雪してもらえないので外に出られません。

また、県道の大河原高倉線の大河原南小学校まではきれいに除雪してありますが、角田市分からは除雪できていません。市から県に強く要望してもらいたいです。

融雪材については、すでに使ってなくなりました。【西根地区】

当日の回答

市道は総延長580kmあるが、業者を増やしたので250kmから約350kmまで除雪できるようになりました。市で除雪しきれない所は、市民の力を借りるしかありません。角田橋・枝野橋は、子どもの自転車通学が危険なため、今年からしてもらっています(県対応)。

融雪材は気温が3度以上にならないと効果が出ないので、1月14～15日の雪は気温が低すぎて効果がありませんでした。市内130か所に融雪材は置いています。申し出てもらえば、土木課で補充します。

今後の取組み

除雪については、1級及び2級市道を中心とした幹線道路を優先して実施しているため、その他の路線や枝線までは、手がまわらない状況です。今後、除雪に対応できる業者の確保に努めてまいります。

県道大河原高倉線については、県に実態を伝え、丁寧な除雪に努めていただくよう要望していきます。

融雪剤の補充については、土木課に申し出てください。【土木課】

意見・質問・要望等

- ①グレーダーではなく、タイヤローダーで道路中央部分を押し付けて行くだけの、掃き幅の狭い除雪作業をしています。角田市で除雪用の機械を計画的に購入して、業者に貸与して丁寧な除雪をさせてほしい。
- ②横倉山崎から国道に至る道路は、タイヤローダーで道路の中央だけ除雪しました。業者を増やして歩道も除雪してくれるのは良いが、もっと丁寧に幅広く除雪してほしいです。各地域に小型の除雪機を設置してはどうですか。
- ③除雪作業は、積雪何センチになったら出動するのか。国道から横倉小学校に至る市道は日陰でいつも圧雪になり、なかなかとけません。このような所は再度除雪すべきではないですか。
- ④角田市の除雪の現状を知ってほしいです。仙台へ車通勤しているが、いつも亘理町や山元町は裏通りまできれいに除雪されています。角田山元トンネルから角田市に入った途端、除雪後の残雪が圧雪わだちとなって、いつまでも残っています。国道113号の白石側もきれいに除雪されています。角田市だけ除雪が下手で、角田市民としては非常に悔しい思いです。【横倉地区】

当日の回答

- ①前回の議会報告会でも各地区から除雪に関する多くの質問要望がありました。今年からタイヤローダーを所有している3業者を増やして、16業者でこまめに除雪する計画をしました。それ以外にも土木課でグレーダー3台をリースして、直営で除雪をしています。市道総延長580km中、今回360kmを除雪しました。除雪車両を持たない市内の指名業者12社については人力での除雪も可能です。産業建設常任委員会で精査し、学校周辺や歩道橋の除雪も行うよう当局に提言しました。
- ②除雪費用は1日200万円から250万円を要します。年間で約2,500万円です。市民力という形での協力をいただいて、各区とか希望のあるところに簡易の吹き飛ばし型除雪機を準備していこうかという議論をしているところです。意見をいただいたので、さらに議論を深めていきたいです。
- ③市道も県道も、積雪7センチ以上になると除雪を始めます。除雪作業(掃き方)が上手で褒められることもあるがクレームもある。再度精査します。
- ④今回、除雪体制は整えたものの、除雪作業後の苦情が多い。業者の除雪作業レベルの問題と思われる。隣町との除雪結果の違いを調査し、改善して参ります。

今後の取組み

- ①タイヤローダでの除雪については、掃き幅が狭いものがあり、道路中央部のみの除雪となってしまうことがあります。また、住宅地内で、路上駐車をされているところは、それをよけなければならず、中央のみの対応にならざるをえないとの報告も業者から受けております。可能な限り、往復して、道路幅員がきれいに除雪できるよう、業者に指導していきたいと思っております。なお、除雪用機械の購入ですが、購入には多額の予算が必要となり、その後、機械の維持・メンテナンス料もかかることから、現在のところ、計画的な購入は考えていませんが、機械リース等で対応できないか検討中であります。
- ② ①の回答どおり、往復し、きれいに道路が掃けるよう委託業者を指導していきます。各地区に小型の除雪機を設置してはどうかということですが、これも①の回答と同様、導入には、多額の予算が必要となり、維持・メンテナンスの費用をどのようにするか、また、管理は行政区主体となってできるのかなどの課題がありますので、もう少し検討して参りたいと考えています。
- ③除雪作業は、市道については、7cm以上、国県道については、

5cmから10cm以上の積雪があった際に、除雪となります。なお、該当路線の戸地掛梶賀線は、業者に除雪を委託していますが、震災によるマンホールの隆起等で、思うように除雪できていない箇所もあるかと思えます。除雪後もパトロールを実施し、圧雪箇所には、融雪剤を散布するなど、対応していきたいと考えております。

④近隣の市町の除雪の対応等を調査しながら、業者に指導し、改善を図ります。【土木課】

No. 28

除融雪に関する事

意見・質問・要望等

除融雪に関連して、今月の13日の日曜日でしたが、アルプス電気から農免バイパスに抜ける日陰となっている凍結道路(老ヶ崎)で、車がスリップして横転し大破した事故が2件発生しました。この場所は過去にも同様の事故が発生しており、市内には同様に凍結しスリップ事故等が頻発する箇所があると思われま。これらの場所等には、何らかの警告看板やガードレールの設置、危険凍結箇所のアイスバーン対策などは考えられないものか伺います。【角田地区(豊室・老ヶ崎ブロック)】

当日の回答

ただ今の凍結によるスリップ事故等が頻発している箇所については、帰り道に確認をして参りますが、これらの凍結による危険箇所については、現在滑り止めの防止材として砂置き場を各所に設置しております。また、凍結を防止する目的として融雪剤の配布も行っております。この件については前回の報告会でも要望されており個別事案として持ち帰り、道路改良も含め当局と精査して参ります。

今後の取組み

スリップ事故が多発する箇所には、今後、注意を促す看板や、すべり止め砂の設置、除融雪の重点的な散布を検討していきます。【土木課】

No. 29

河川管理に関する事

意見・質問・要望等

小田川の雨水対策は市民が困らない対策をして欲しいです。恒久的な対策を要望します。【小田地区】

当日の回答

市としても諸施策は講じていますが、万遍なくとは言えないと思われま。市としても検討するよう伝えま。

今後の取組み

現在、小田川の河川改修事業につきましては、1期工事として小田川水門から阿武隈急行交差部までの区間を宮城県が事業主体で平成18年度より事業を開始しております。【土木課】

No. 30

河川管理に関する事

意見・質問・要望等

高畑地区は30年前は生活雑排水で大変でしたが、現在は道路整備や側溝整備も進み水があふれる事がなくなり感謝してま。
新中北、中島下についてもすばらしいが、管理体制が悪く、管理者が遠い所にいるため操作するにも時間がかかります。直ぐに対応できない問題があります。【角田地区(東ブロック)】

当日の回答

排水路は国土交通省管轄です。この件を当局に伝え、市長を通して国土交通省に要望してま。

今後の取組み

議員回答のとおりです。【土木課】

意見・質問・要望等

①高倉川は、川の中が森林のようになっています。西根3区は高倉川から用水していますが、水が30cmぐらいしかありません。川底1mぐらい土を取ってもらいたいです。高倉川は北郷の方へ行くと、もっと木が太くなっています。整備をしてもらいたいです。

②要望で終わらせないで欲しいです。【西根地区】

当日の回答

①要望として承っておきます。

②報告会のお話は1年かけて行政に反映するよう、議員側も努力していきます。また、報告会の結果は必ず報告します。

今後の取組み

①高倉川については、宮城県が河川管理者となっておりますので、市としても今後、河川の浚渫について、要望していきたいと考えております。【土木課】

②議員回答のとおり【議会事務局】

意見・質問・要望等

①東日本大震災により水洗トイレに紙を流さないとのことですが、いつから流せるのですか。【角田地区(田町ブロック)】

②東日本大震災後、トイレトペーパー自粛の話があったが、ホームページで確認したら2月より通常どおり使ってよいような記事が載っていました。

やめなさいは大々的に広報しておいて、良くなったことはなぜ広報しないのですか。

今までの期間、市役所も議員もしっかりと守ってきたのですか。【角田地区(東ブロック)】

当日の回答

①4月1日から流しても可能とのことですが、市民に早めに周知するように伝えます。

②広報についてはおっしゃるとおりです、当局に伝えます。

今後の取組み

市内の下水道の災害復旧工事が順調に進み岩沼の下水道処理施設も復旧したため、水洗トイレ等の使用については震災前の通常の方法で使用する旨を市のホームページに1月7日に掲載し、広報かくだにおいては2月号で市民の皆様にお知らせしているところです。【下水道課】

意見・質問・要望等

角田市下水道の普及率はどの程度になっておりますか。【北郷地区】

当日の回答

下水道については、認可区域とならなければ、更なる拡大にはならない仕組みであり、現区域については、手元に資料がございませんが『広報かくだ』で公表されております。普及率については、確認します。

今後の取組み

平成24年度末で事業認可を受けている面積、705.2ヘクタールのうち整備済面積は630.73ヘクタールで、整備率は89.4パーセントです。また、その区域内の水洗化率は約77パーセントとなっております。【下水道課】

No. 34

農業に関すること

意見・質問・要望等

昨年塩化カリウムを30kgふったが、今年はどうなるのですか。【桜地区】

当日の回答

今年は1反当たり20kgの塩化カリウムの散布を米と水田に作付けする大豆に行います。
 予定対象面積は、米2,544ha、大豆300ha、計2,844ha 予算は約6,800万円です。

今後の取組み

塩化カリ肥料については、24年産米に続き、25年産米に対しても無償配布をすることで、事務を進めています。
 今年は、水田中の残存カリ量から10アール当たり20kgを散布することにしており、2,909ヘクタールに散布しますが、うち300ヘクタール分は転作大豆も散布対象にしています。
 なお、昨年同様、散布の推進と確認に要する経費として、10アール当たり400円の助成をすることにしてしています。【農政課】

No. 35

農業に関すること

意見・質問・要望等

東京農大と提携したとのことですが、具体的な目標が見えません。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答

意見として承ります。

今後の取組み

東京農大とは、地域振興や調査研究のフィールドを目的に、平成22年7月に包括連携協定を提携しています。目に見える成果は今のところありませんが、農業振興公社で実施している「土の塾」の塾生として、東京農大の学生を積極的に受け入れています。【農政課】

No. 36

農業に関すること

意見・質問・要望等

農業振興公社を通し、研修会を行い、自活の道を促すべきではないか。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答

意見として承ります。

今後の取組み

農業振興公社の事業目的に、地域農業戦略の調査・研究や、シンクタンク機能に関することなどが掲げられています。
 そうした中において、昨年、公社主催で6次産業化の取り組みや、産直施設におけるマーケティングの研修会を6回シリーズで開催しています。市としましても今後、こうした取り組みを行う公社に対して支援していきたいと考えています。【農政課】

No. 37

農業に関すること

意見・質問・要望等

塩化カリは、今年も散布予定ありますか。【北郷地区】

当日の回答

12月定例会で、水稲と水田に作付けする大豆のため10a当たり20kg散布することと決定しております。
 ○水稲面積 2,544ha 大豆面積 300ha 合計2,844ha (28,440袋)
 ○散布補助金 10a当たり400円
 ○予算額(12月補正) 塩化カリ代 56,589千円 散布助成金 11,376千円

今後の取組み

塩化カリ肥料については、24年産米に続き、25年産米に対しても無償配布をすることで、事務を進めています。
 今年は、水田中の残存カリ量から10アール当たり20kgを散布することにしており、2,909ヘクタールに散布しますが、うち300ヘクタール分は転作大豆も散布対象にしています。
 なお、昨年同様、散布の推進と確認に要する経費として、10アール当たり400円の助成をすることにしてしています。【農政課】

意見・質問・要望等

放射能について、塩化カリを散布しセシウムが出なくて良かったのですが、仙北では出た話がありました。濁った際には水を入れないなどセシウムが出にくい方法をとってきています。今年の塩化カリ散布などのことについて、詳しく説明してください。【枝野地区】

当日の回答

塩化カリは、昨年はセシウムの数値を出したくないということで、30kg/反の補助とすることにした。今年は20kg/反、2,844ha、総額8,500万円(塩化カリ7,500万円、事務手数料1,000万円)となっています。水稲だけでなく大豆麦など300haも散布対象となっています。

今後の取組み

塩化カリ肥料については、24年産米に続き、25年産米に対しても無償配布をすることで、事務を進めています。

今年は、水田中の残存カリ量から10アール当たり20kgを散布することにしており、2,909ヘクタールに散布しますが、うち300ヘクタール分は転作大豆も散布対象にしています。

なお、昨年同様、散布の推進と確認に要する経費として、10アール当たり400円の助成をすることにしていきます。【農政課】

意見・質問・要望等

農協が合併して7つが1つになりました。角田の農業は各方面と一体となって取り組んでいかなければならないと思いますが、市と農協などとの連携体制はどうなっているのですか。角田という捉え方のなかで、検討して行ってほしいです。【枝野地区】

当日の回答

以前は角田市と農協が一体となってやってきましたが、農協が合併したために自治体ごとにやるのが難しくなってきました。農地の貸し借りは農業振興公社が行っており、農水省の土地と人ということで検討されています。行政ばかりまたは農協ばかりが頑張っても角田の農業振興はできないと考えています。行政と農協が一体でやる必要があります。農業振興公社の拡充、農協との連携、過去にあった農業振興推進委員会の再構築など、議会としても検討していきたいです。

農業振興協議会で塩化カリを撒くことを決めました。今年の米の食味はほぼ同じか少し上がっています。

今後の取組み

かつて「農業は角田に学べ」と周知され、全国に知れ渡るほど先進的な実績を積み上げてきたのは、市(行政)と農協が車の両輪のごとく一致団結した歩みを進めてきたものと思っています。

特に、昭和41年に、市、農協、共済組合、土地改良区、県などから構成される農業振興協議会が発足され、先進的な角田農業の牽引役となり、その中で、情報提供、相互連携もさることながら、角田農政の政策立案やその意思決定を一連の過程で進めてきたことが大きな成果を産み出してきました。

現在も当協議会は存続していますが、農協や県の組織統合等もあり、かつてのような活動には至っておりません。そのため、目下、他の組織との統廃合も検討しており、新たな農政に対応すべく関係機関と連携を図り、かつてのような先進的なモデルになるよう努めていきたいと思っています。【農政課】

意見・質問・要望等

①イノシシはもとより、今はサルに悩まされています。1集団20から30匹で2～3集団がやってきて、野菜などは全滅に近い状態でやられています。市からは花火を提供してもらっているがもう効果はありません。なにか方法はありますか。

②イノシシについて、京大の教授いわく人間がえさをちらかしているからいけないとのことでした。

度々広報かくだに掲載される道の駅の話ですが、避難所としての役割や、衛生センターの跡地利用など懸念される点がありますが、現在の進捗状況と議員の方々の姿勢をお聞かせ下さい。【枝野地区】

当日の回答

①イノシシ・サルについて、狩猟組合にお願いしサル対策をとることを考えています。里山との境に実のなる木を植栽することも考えています。檻罠についても相当数で対応します。

はぐれザルは坂津田まで行くが、内町湖あたりから北には行きません。偵察サルは、体が大きく人間を威嚇します。家の中に入って来たりするようになる前に固体調整として何頭か殺傷しなければならないと考えています。先進地視察を含め議会でも検討していきます。

②隈東地区に拠点を作る構想が市長にはあるようですが、議会にはまだ提案されていません。長期総合計画の中でうたっていることなので、議会としても追認するだろうと考えています。

今後の取組み

①昨年、島田石川口から坂津田中の山間地にかけてサル(集団)が何度も出射しました。市としては花火による追い払いで対応してきましたが、一時的な効果でしかないことにより、25年度においては隣接自治体と広域的な対応を考えています。具体的には、レーダーによる効率的な追い払い、銃器による駆除、サル対応の研修会の開催など予定しています。

②里山が荒廃し、山でのエサ不足などが起因し、最近のイノシシは人里まで来るようになりましたが、住居周りに食品残渣があると、そこが餌場となり習性化してしまいます。

そうならないために各人が注意することと、集落ぐるみでの対応も必要となるので、そのことを市でも周知啓発していきたいと思えます。

【農政課】

『道の駅』については、平成24年度に策定した基本構想を市の基本方針として示し、今後、市民等の意見を反映した基本計画・実施計画を平成26年度に作成する予定となっています。

平成27年度から整備を進め、平成28年度の開業を目指しているところですが、

今後、防災情報の発信、災害支援物資の集積・中継機能等を含めて検討していきます。【政策企画課】

意見・質問・要望等

治水について、長瀬・鱸沼は冠水被害が多いです。シンケンファクトリーから馬場内の水路改修ができていません。館矢間からの流入も見越して治水対策をすべきです。時間がかかっても着実に進めてほしいです。【角田地区(野田ブロック)】

当日の回答

持ち帰り、内水の治水事業を確認します。

今後の取組み

長瀬・鱸沼エリアは、大雨時に冠水・湛水被害の影響を受け、水稻の生育に支障を及ぼしています。
 先ず、赤沼経由で尾袋川への部分排水が考えられますが、降雨量等によってはすべて吐ききれない問題があります。そのため、小田川への強制排水が一番考えられるところですが、丸森町館矢間地内を通して流れてくる坪石幹線用水路については、過去に水落場の土砂吐き施設を撤去したことにより、その機能回復が進まないうちは小田川排水によりすべて完結できるものではありません。
 こうした様々な課題がありますが、一つの手掛りは「国営かんがい排水事業角田地区」の排水計画の見直しを進める中で、解決の糸口を見出せないか、目下、国・県や県選出国會議員にお願いしているところです。【農政課】

意見・質問・要望等

農村婦人の家の件ですが、この建物は昭和55年に建てたもので、外壁等がかなり傷んでおりますし看板も判読できない現状にあります。また、備品や機材についても老朽化しており、食材加工時には大変危険で苦勞しております。これらを市の担当課に相談をしても「予算が無い」の1点張りで解決をする意欲も努力も感じられません。少なくとも現場においては、角田の地場産品を開発する為に、この施設を活用しながら努力しておりますが、その辺についての議会の考えを伺います。【角田地区(豊室・老ヶ崎ブロック)】

当日の回答

この施設の老朽化に伴う改修整備につきましては持ち帰らせていただき、2月定例会の産業建設分科会において厳しく審査致したいと考えますが、現在議会では、これら補助付き物件の弾力的な活用方法について提言している所でもあり、角田の地場産品の開発と併せ、長期総合計画において角田ブランド開発の推進が最重要課題の一つとなっております。これらの事を含め食品加工機材の改修や整備等について、当局に強く要望して参ります。

今後の取組み

施設内の備品等は、だいぶ古くなり不具合のある器具があることは市でも承知しています。
 すべての備品を一度に更新することは、予算的な問題もありますので優先度に応じて対処していきたいと思いますが、25年度は回転釜1台を更新することにしていきます。【農政課】

意見・質問・要望等

農業の館で作られた汚染堆肥はどうなっていますか。【桜地区】

当日の回答

1tフレコンで1,197ありますが、管理はしっかり行っています。現在は、通常に堆肥が生産され、販売しています。

今後の取組み

これまで館の倉庫内に保管してきた製品堆肥については、昨年11月に館の敷地内にパイプハウスを整備して既に移動しています。
 なお、最終的な処分方法については、放射能の汚染度(ベクレル)等を考慮して対処していく予定です。【農政課】

意見・質問・要望等

①5年間で1億円余りの赤字で稼働率50%に満たないということは、当初の計画がずさんだったということです。今後の計画、考え方はどうなっているのですか。

②改善案が見えないまま、毎年2,000万円からの赤字を抱え“辞める”という選択もあります。補助金返還ということもあるだろうが、返還しなくても良いという何か工夫は無いのでしょうか。市としてどんな改善案を持っていますか。

③農業の館の堆肥は園芸等にも利用できるらしいですが、その用途について広く市民に周知できないのでしょうか。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答

①議会としても赤字が良いとは思っていません。常任委員会で3～4年前から議論をしてきましたが改善は見られず、一昨年12月特別委員会に付託、この度、何とか良い方向に持っていけるよう提言してきたところです。

また当初、コスト感覚が乏しかったことは否めず、更に原料堆肥納入側の対応が行政側の動きとマッチしなかった面もありました。

収支で黒字になることが望ましいが、畜産農家の処理課題解消と共に優良な堆肥生産、提供により、角田の米をはじめとした農産物のブランド化確立に向けた取り組みを…と訴えているところです。

②議会でもコスト意識を強く持って取り組んでいます。また、こんなに赤字が続くのであれば辞めたらよいのではないかと、農協もしくはその他の専門家に無償で貸与したらどうかという意見もあります。

支出超過(赤字)をご心配いただいておりますが、循環型農業の考え方で、消費者に評価される農作物の生産を目指すということであり、損得ではない部分もあります。

もちろん、いつまでも支出超過では困るので、徹底した合理的経営を促し、最終目標である有機農業の里づくり実現を目指しています。

③PRの方法について今後検討するよう、農政課に伝えます。

今後の取組み

①及び② 原料堆肥の確保や製品堆肥の生産量に対しては、稼働直後から目標量に達せず、結果として赤字経営の見方もされる中において、一方で行政コスト、農業政策コストとみる見方もあります。

これまでの実績については、少しずつですが伸びてきており、当初目標の6割くらいまで上がってきています。(H23年度は除く。)今後の目標としては実現可能な7割を目標にしたいと考えますが、そのためには、原料堆肥の安定確保や、水分調整を十分行うよう指導し熟成槽での燃料代を減らす取り組みや、さらに指定管理者が販売意欲を高めることのできるようなインセンティブ策などを通じて、少しでも向上していくよう努めて参ります。

③農業の館の堆肥販売については、市の広報などでもPRしていますが、園芸等にも幅広く利用できますので、今後もさらに周知に努めていきます。【農政課】

意見・質問・要望等

農業の館について、2,000万円赤字のようですが、収支改善についての見通しはようになっておりますか。【北郷地区】

当日の回答

議会では、収支改善の見通しについては、議会の提言を確実に実行することで相当部分の改善がなされると思っておりますが、まだ、具体的にこれくらいになりますと言える段階までいっておりません。また、この農業の館は、有機農業の里づくりという目標を掲げての事業であり、農業の館の収支だけで評価出来ない面もあることもご理解いただきたいと思います。

今後の取組み

原料堆肥の確保や製品堆肥の生産量に対しては、稼動直後から目標量に達せず、結果として赤字経営の見方もされる中において、一方で行政コスト、農業政策コストとみる見方もあります。これまでの実績については、少しずつですが伸びてきており、当初目標の6割くらいまで上がってきています。(H23年度は除く。)

今後の目標としては実現可能な7割を目標にしたいと考えますが、そのためには、原料堆肥の安定確保や、水分調整を十分行うよう指導し熟成槽での燃料代を減らす取り組みや、さらに指定管理者が販売意欲を高めることのできるようなインセンティブ策などを通じて、少しでも向上していくよう努めて参ります。【農政課】

意見・質問・要望等

農業の館について、堆肥に菌を入れると言っていますが、菌などどこにでもあります。簡単なのはご飯や米ぬかを投入すればすむと思います。

過水分について、脱水機を使えば改善します。豊室では灯油を使用せずに、フレッカータイプの散布機で散布するために水分を40%まで落としています。

専門家を活用すべきであると思いますが、どのように考えているのですか。家庭ごみについても農業の館で処理する仕方で検討すべきと思います。

また、放射能問題もあるので、堆肥にゼオライトを投入してはどうですか。

限られた中で良い堆肥を作り市民型にしていくことで市民農園もいっぱい埋まると思います。交流・定住人口を増やすきっかけにもなると思いますので、良い方向に持っていくよう考えて欲しいです。

【藤尾地区】

当日の回答

持ち帰り検討させていただきます。

今後の取組み

スタート当初は、多少、試行錯誤的に生産してきたところがあり安定しない面もありましたが、最近技術力も向上してきたこともあり、平成24年度は一定程度の評価をいただいています。

家庭ごみの食物残渣の利用については、制度設計時より生協等の関わりの中で使用しないことで進めてきています。【農政課】

意見・質問・要望等

農業の館について、原料堆肥の搬入は順調に行っているのですか。搬入前に水分調整をしてから使用すべきです。製品堆肥も水分が多く、一般的な散布機械が使いません。もみ殻が多く、田植え時には浮いてきます。改善すべきです。【角田地区(野田ブロック)】

当日の回答

原料堆肥の確保について
 ①利用組合員全体の会議を月1回程度開催し、計画通りの搬入が出来るよう努めるとともに、利用組合が自発性を発揮できる組織にすることや、広く畜産農家の協力が得られる環境を整えていく必要があること
 ②堆肥づくりに精通する職員を置く方向で今後検討すること
 ③原料堆肥の水分調整について
 ・水分70%以下で搬入するよう徹底すること
 ・水分含有率が少ない繁殖肥育牛農家の利用組合への加入を促進すること

を市に要請しました。

今後の取組み

原料堆肥を搬入する場合、利用組合員に対し十分切り返しを行った上で持ち込むことで周知してきたこともあり、だいぶ水分調整がなされてきています。
 また、スタート時はもみ殻が多いこともあって、浮遊性が指摘されましたが、H24年度は副資材の混合割合や製品堆肥の水分調整を研鑽してきた結果、使い勝手が良くなったとの声もいただいています。今後もさらに使い勝手の良い製品づくりに努めていきたいと思えます。【農政課】

意見・質問・要望等

農業の館については「検討します。」という答弁ばかりですが、いつ頃はつきりするのですか。

当日の回答

農業の館については、特別委員会を7回開催し、12月に議会から8項目の要望を市へ提出しました。

今後の取組み

農業の館については、議会で調査特別委員会が設置され、昨年12月に議会から中間報告として、改善に向けて8項目の要望をいただいています。今後、これらの要望を検討し、実施可能なものは実行に移していきたいと思えます。【農政課】

意見・質問・要望等

農業の館について、過去論議してきました。今年の堆肥も散布したが、これまでにない程良い物でした。これからもよろしく願います。【枝野地区】

当日の回答

農業の館の堆肥は稼動当初は堆肥ではなかったです。これまでなかなか改善されなかったのを、特別委員会に格上げして対応し、7項目を集中して対応しようとしています。現在堆肥として良くなってきていますが、さらに品質を良くし、安価なものにしていかなければならないと考えています。

今後の取組み

今後もさらに使い勝手が良くなるよう努めてまいります。【農政課】

意見・質問・要望等

農業の館の副資材の投入について、川沿いの堤防の草を使ったら堆肥に影響します。今、保管している堆肥はこれからどうするのですか。【枝野地区】

当日の回答

放射能で汚染された副資材は使用しません。副資材は醗酵を促進するものとして考えて頂きたいです。農業の館に汚染堆肥は1,200フレコンありますが、別ハウスを建てて別管理しています。中間貯蔵という形で農業の館の敷地内に保管しています。

今後の取組み

農業の館での堆肥製造においては、副資材として「堤防の草」は使用しておりません。
 これまで館の倉庫内に保管してきた製品堆肥については、昨年11月に館の敷地内にパイプハウスを整備して既に移動しています。なお、最終的な処分方法については、放射能の汚染度(ベクレル)等を考慮して対処していく予定です。【農政課】

意見・質問・要望等

農業の館は、当初、赤字運営と聞いてます。当時においては、既に豊室の堆肥センターが稼働しておりましたが、何故に新たな施設を整備しなければならなかったのか伺います。【角田地区(豊室・老ヶ崎ブロック)】

当日の回答

当時、豊室の堆肥センターから生産されます堆肥は、JA仙南において、主に隈西の桜地区でのふるさと安心米に活用し付加価値を付けるための取り組みとなっております。

一方、隈東地区(枝野、宮沢)においても、角田の米に付加価値を付け、循環型の農業に取り組む必要性が生じてまいり整備を図っているもので、将来的には角田全域の農産物に活用しようと計画されたものであります。

また、その当時は家畜糞尿の処理について、厳しい法整備がなされた中で、畜産農家等の現状を踏まえたうえで一箇所にまとめる形での整備を行いました。

当初は、原料堆肥を搬入します各農家より利用料を徴収する形でスタートを致しましたが、搬入農家の諸事情等もあり現在は無料での取り扱いとなっております。

その件も含め、施設自体の課題や運営方法等について、現在、議会の特別委員会で精査を行っており、出来るだけ早い時期に、市民の皆様がご理解頂けるような施設運営に向け改善して参ります。

今後の取組み

家畜糞尿の処理については、平成16年に家畜排せつ物法に罰則規定が加味され、全国的に施設整備の動きがありました。

当時、JA仙南においては豊室の堆肥センターから生産される堆肥は、主に桜地区のふるさと安心米に活用し付加価値を付けるための取り組みを進めてきており、館の堆肥は、島田・枝野地区等のふるさと安心米に使用することですみ分けし始まったもので、有機農業の里づくりを目指すものでした。

原料堆肥の確保や製品堆肥の生産量に対しては、稼動直後から目標量に達せず、結果として赤字経営の見方もされる中において、一方で行政コスト、農業政策コストとみる見方もありますが、いずれにいたしましても当初目標に近づけていくことが求められておりますので、市といたしましても少しでも向上するよう努めて参ります。【農政課】

意見・質問・要望等

東日本大震災復旧のため沿岸部へ土砂運搬が頻繁になっていきます。笠島から小田にまたがるゴルフ場用地も対象になっていきますが、現状説明をお願いします。小田地区にも良い場所があるので提供して採取跡地を地区の活性化につなげていきたいです。【小田地区】

当日の回答

東根、西根地域を主として、東日本大震災の復旧復興に伴う沿岸部の地盤沈下の埋立て、イチゴ団地造成、防潮堤築堤工事用の土砂の採取が行われています。計画中也含めると約10か所と思われます。面積にすると約50haに及ぶと見えています。問題は市道の破損、粉塵、騒音の被害がでています。これらについての対応と対処を国等に強く要望しています。

笠島地区の土砂採取計画は、笠島字平場地内で計画面積は約20ha、採掘面積は約12haで期間は2年間となっています。採取に当たっては森林法、砕石法に基づく採取計画認可申請を行うことになっています。復旧、復興には協力するものの、住民とのトラブルは無いことを願っています。小田地区の場所については市に確認します。

今後の取組み

東日本大震災で被災した沿岸部の復旧・復興のために土砂が大量に必要となり、隣接する角田市においても砂利採取が盛んに実施されております。

これにより、多くの大型ダンプが頻繁に生活道路を運行することから、振動や騒音、道路が傷んだり汚れたりするなどで、周辺住民に大変なご迷惑をおかけしております。

今後とも、できるだけ住民の生活の安全安心を確保しながら沿岸部の復旧・復興のため、地域産業の振興のために協力していきたいと考えております【商工観光課】

意見・質問・要望等

- ①東日本大震災の復旧工事に伴う土砂採掘運搬のために多くのダンプカーが走っています。舗装も壊れ、修繕されていません。道路を清掃したり、改修したり万全を果たして欲しいです。要望書が提出されているのならば、ご検討ください。
- ②道路の修繕は、国の復興予算でやって欲しいので、国への働きかけを強めて頂きたいです。住民の方々に迷惑をかけないように昨年12月25日に協議会を設立したのでしっかりと対応していきたいと考えています。
- ③角田市議会に対する要望書の提出期限はいつまで提出すれば良いのですか。
- ④議員の方々に土砂を運搬する状況等の現場を見て欲しいです。ダンプの往来、粉塵で家にまでほこりが入ってくる状況です。【東根地区】

当日の回答

- ①国においても、要望などを市長を通じて行っております。なお、再度検討させていただきます。
- ②ありがとうございます。議会としてもしっかりと検討させていただきます。
- ③2月定例会については2月12日までに提出してください。
- ④十分、現場を見せていただきたいと思います。

今後の取組み

林地開発許可申請が知事あてにあった場合、騒音・粉塵・汚濁水等の公害防止に配慮することや、作業車両の通行上の安全配慮に努めることなどを県あてに副申しています。

また、2月27日に地元区長・地元市議と市の関係部署と一緒に、大河原地方振興事務所長を訪問し、県の立場から事業者に対し適切な指導監督等を行うようお願いしてきています。【農政課】

土砂採取の認可権限をもつ県に要望したり、国や県の発注者や関係機関と話し合いをもち改善するよう要望しています。【商工観光課】

- ①・②については、国・県・関係市町等で検討していきます。
- ③・④は議員回答のとおりです。【土木課】

意見・質問・要望等

目黒区との交流で、目黒区民まつり時の販売程度ではなく、店頭に常時置いてもらうなど検討すべきでないでしょうか。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答

意見として承ります。

今後の取組み

今年度、目黒区の方から「角田産米」を区内で販売したい旨、打診され、JAと一緒に目黒支部米穀小売商組合を訪ね、打ち合わせしてきました。先方としては、全農を通さずに直接、小売商組合に供給してもらい、できるだけ安く手に入れたいとの要望でした。

JAとしても即断できないことより、目下、検討中ですが、今後も供給のあり方について継続して検討していきたいと考えています。【農政課】

目黒区民まつりのほかに、目黒区自由が丘観光フェスティバルで仙南シンケンファクトリーの地ビールや秘伝豆の枝豆を販売したり、目黒サッポロ会で角田のお米をPRしたりしています。【商工観光課】

意見・質問・要望等

交流人口100万人目標は良いことだが人もお金もかかります。リバーサイドマラソンやずんだまつりなど少し時期のずれているイベントを組み合わせる実施してはいかがですか。梅まつりは、商営駐車場ではなくもっと広いところでやっはどうですか。うめの産地は全国的にあるので角田市が呼び掛けてうめグルメコンテストなど企画してはいかがですか。【角田地区(東ブロック)】

当日の回答

以前、たまたま同日開催になった事がありますがその時は連携が取れませんでした。

良い話なので主催者に伝えたいと思います。梅まつりを広い場所でと言うのは、市役所の利用など主催者の観光物産協会も考えているようです。

うめグルメコンテストなど大変面白いと思います。担当に提案させていただきます。

今後の取組み

グルメコンテストといえば、角田市においても一昨年には「まめ料理コンテスト」、昨年は「うめ料理コンテスト」を開催しました。まめコンには、47作品の応募(実出品は41作品)、うめコンには73作品の応募(実出品は68作品)があり、中には商品化されたものもあります。

角田市では「おいしいかくだ」を旗印に角田産食材提供店推進事業として、地場産食材を使った定番メニューを飲食店で提供することを推奨していますが、そのきっかけづくりが料理コンテストのねらいでもあります。

まめコンでは、インターネットを介して新潟県からの応募もありました。ご提案のように全国展開の可能性も秘めていますので、今後とも企画内容を工夫していきたいと思っております。

菜の花まつりやずんだまつりなどではウォーキングを組み合わせるなど、できるだけ連携しながら開催しております。

イベントの開催時期については、花の咲く時期や収穫の時期が短かったりするなどして、他のイベントと組み合わせるのが難しいものもありますので、よく検討したいと思っております。また、角田に行けば何かやっているということで、小さなイベントや地元でやっているイベントを増やしていくことも大切だと考えております。

会場については、収容人数以上に大きなイベントになった場合は新たな会場等を選定しなければならないと考えますが、できるだけ街中に賑わいをつくりたいということで考えているイベントもありますのでご理解願います。【商工観光課】

意見・質問・要望等

角田に来て、働いている人が多いような気がします。優先して角田の人を採用できないでしょうか。【角田地区(南ブロック)】

当日の回答

誘致企業22社で、5,600人ほど働いています。角田市の市民かどうかは分かりませんが、その規模で働いています。昨年、梶賀にジー・エス・エレクトリックは全員、角田市民が採用されました。

今後の取組み

雇用条件に角田市在住と言う制限を加えることは法的にも難しい状況ですので、角田市民の採用を含めて、さらなる雇用拡大を図っていただくよう企業に要請していきたいと考えております。

なお、(株)ジーエスエレクトリック東北には、平成25年3月19日現在、59名の方が働いていて、うち30名の方が角田市民となっております。【商工観光課】

意見・質問・要望等

現在、市民は様々な負担を抱えています。農業の館の2,000万円の赤字分を、例えば、中島住宅等を被災者に与えてはどうか。いずれ定着・定住が叶えば税収も見込めると思うのですが。【角田地区(中央ブロック)】

当日の回答

現在、中島住宅の空き家については、ベニヤ板が貼られ、見た目も悪い状態が続いています。これらのことも含め、今後、市に提言していきます。

今後の取組み

中島上住宅等の空き家は、老朽化のために多額の修理費が見込まれるため、現在入居募集を中止しているもので、予算がつき次第、取壊し及び建替え移住を予定しているものです。従って、現状の空き地については、取壊しの予算が先行しているため目立つようになっているものです。

市の計画では、市営住宅の必要見込み戸数については、495戸を見込んでおり、中島上などの公有地については、将来その実現に向け、国、県の制度を利用する上で必要なものと見込んでいます。【建築住宅課】

意見・質問・要望等

中島上住宅の跡地利用はどうなっているのですか。【角田地区(田町ブロック)】

当日の回答

当初、新たに住宅を建てる計画(マスタープラン)でしたが、現在は見送りになっております。

今後の取組み

中島上住宅は、一旦計画を策定しましたが、中島保育所移転以降についてはその後の経済変動に伴う財政状況もあり、見直しを含め再検討する必要があるところです。

今後も市営住宅の目的である低所得者向けの住宅を確保する上で、市の将来必要公営住宅戸数495戸を確保するためにも、中島上住宅のような、まとまった面積のある公有地を有効に活かし、高齢者や子育て世代に利用しやすい住宅に建替える予定でいます。【建築住宅課】

意見・質問・要望等

- ①水道料金について、2市7町で角田市は値段が高い順で何位ですか。
- ②水道事業所を新築するために、その分を料金に上乗せしているのですか。
- ③なぜ角田市の水道料金は高いのですか。【桜地区】

当日の回答

- ①全国3万人規模では2位。2市7町では1位。

《その後の調査結果》

水道料金について、仙南2市7町の中で角田市は、10m³で6位、20m³で3位です。

- ②そのようなことはありません。

③10億円を超える現金預金が出るほどの料金設定と連担率が悪く設備投資の減価償却分が多いためです。また、七ヶ宿ダムから取水している分の負担金を皆さんの水道料金から収めなければならないからです。

《その後の調査結果》

角田市の水道料金が高いといわれる主な要因は、(1)市の面積が広いのに対して給水人口が少ないため効率が悪いこと。(2)昭和52年度の七ヶ宿ダム建設当時、日本は高度経済成長期であったため、角田市は将来人口増を見込み、1日あたりの受水水量を21,200tと見込んで参加しました。しかし、給水人口は伸び悩み現在は約8,000tしか使用していませんが、基本料金は21,200t分で支払う必要があるためです。

今後の取組み

- ①口径13ミリメートルの場合、家庭用10立方メートル1,990円(県平均2,026円)、家庭用20立方メートル4,770円(県平均4,116円)となっています。

仙南2市7町中、10立方メートルで6位、20立方メートルで3位です。

- ②過去に留保してきた損益勘定留保資金を使用しており、料金に上乗せはしていません。

③給水人口の減少や受水費の基本料金の負担が大きいことが主な原因ですが、水道料金につきましては、仙南・仙塩広域水道事業において平成27年度にも再び料金改定が予定されておりますことから、これからの水道事業における受水・給水体制の在り方・方向性についても併せて検討して参ります。【水道事業所】

意見・質問・要望等

- ①阿武隈川の水質が悪いです。水道水として、いつまで使用するのですか。
- ②水道未整備地区に水道を引いてもらえませんか。放射性物質、特にセシウムが怖いです。一人暮らし家庭で、震災で井戸水が使用できなくなりました。湯沸かし器が壊れたので業者に見てもらったところ井戸水が原因と言われました。
- ③白石市の高い場所で水道があるのに、隣の場所でなぜ角田は水道がないのか。広域で連携できませんか。
- ④高倉配水池はいつ作るのですか。【小田地区】

当日の回答

- ①災害時の水源確保の観点から、小田・枝野浄水場は当面維持し、10年間の中で検討することになっています。現在の割合は広域水道から79%、枝野から14%、小田から7%配水しています。
- ②現在、水道普及率は96%で、井戸水使用家庭は約400戸と記憶しています。一般質問等でも市に要望していますが、未整備地区に水道整備に要する経費は約30億円かかり、1戸当たり1,000万円の試算が出されています。代替政策として飲料水確保対策事業として上限30万円の2分の1の補助対象事業があります。
- ③各自治体の企業会計方式で経営しているので難しいと思いますが、持ち帰り調査します。
- ④計画では平成25～平成26年築造となっています。経費については5～6億円計上されています。

今後の取組み

- ①震災以前は、枝野浄水場の施設が老朽化しておりますことから、将来廃止の予定でありましたが、東日本大震災の経験を踏まえ、角田市水道ビジョンでは、配水量を減少して自己水源を存続するとともに、水道水の安定的な供給を確保するため、高倉地区に配水池を築造する計画となっております。
- ②計画しています高倉配水池は、危険分散と災害対応の強化を図り水道水の安定供給を確保するために築造し、高倉にある既存の配水管に接続するものです。築造により、高倉配水池から既設の管につなが新たな配水管沿いの区域については、水道の供給が可能になります。
その他の未給水の区域につきましては、標高や地理的条件、コスト面や需給者負担等を考えますと、安定供給できる水道施設を整備することは困難な状況となっております。
- ③高倉配水池は、広域水道の低区調整池に近接した場所に築造することから、広域水道からの受水が可能ではありますが、水道水を安定的かつ効率よく供給するために整備するものです。高倉配水池からさらに未給水区域への配水や、さらに標高の高い地点で広域水道から受水し水道施設を整備することは、コストの面からも困難であります。
水道事業は原則として市町村が経営することになっており、それぞれの水道事業者が事業を運営しております。隣接する事業者が連携しようとする場合は、許認可の関係もあり難しい面があります。
- ④平成25年度で配水池の造成を行い、平成26年度に受水配水池の築造を計画しております。【水道事業所】

意見・質問・要望等

水道ビジョンで災害時の応援給水があるとのことですが、東日本大震災時、丸森町では1日で水道が復旧しましたが、角田市では長期にわたって断水しました。詳細について教えてください。【角田地区(新丁ブロック)】

当日の回答

丸森町では本管の被害が少なく、角田市では3月に江尻のところ、2回目の4月には白石で本管が破損したため、復旧に時間がかかりました。応援給水とは、隣接自治体と本管をつないで、災害時の協力体制を検討するとのことであり、議会としても実現に向けて検討していきます。

今後の取組み

東日本大震災では、広域水道の送水施設も被害を受け、3月11日の本震に伴う断水では15日間、4月7日の余震に伴う断水では5日間給水所を設け、給水を行っております。給水では、他県からの地方自治体14団体と自衛隊の給水支援を受けております。

震災以前は、枝野浄水場など自己水源の施設が老朽化しておりますことから、将来廃止の予定でありましたが、自己水源の重要性が見直されましたことから、水道ビジョンでは、配水量を減少して自己水源を存続するとともに、水道水の安定的な供給を確保するため、高倉地区に配水池を築造する計画となっております。

また、長期の断水対策として隣接自治体との緊急時連絡管及び応援給水等について重要な課題として位置づけ、丸森町との協定について検討してまいります。【水道事業所】

意見・質問・要望等

阿武隈川の水質が悪いと聞きます。広域水道に早く切り替えるべきだと思います。また、丸森町と配管を結ぶのはいつ頃ですか。【角田地区(新丁ブロック)】

当日の回答

角田橋と東根橋に配水管が敷設されており、現在、東根橋は工事中です。完成すれば、今まで広域水道の水が東根地区は2～3割だったのが、それより多くなります。川水はやめたいのですが、災害時の非常用として、枝野、小田の取水は縮小して稼働を続けます。

丸森町との管の接続は、非常時のものです。高倉も同様です。

今後の取組み

震災以前は、枝野浄水場など自己水源の施設が老朽化しておりますことから、将来廃止の予定でありましたが、東日本大震災の経験を踏まえ、配水量を減少して自己水源を存続することとしております。一方、平成24年度で東根橋水管橋布設替工事が終了しますことから、広域水道の給水の割合を増やしてまいります。

丸森町との管の接続につきましては、長期の断水対策として緊急時連絡管を接続できないか検討しております。技術的な問題や、水を供給する場合の水道料金等についてどうするかなど解決しなければならない問題もありますが、今後丸森町と協議してまいります。【水道事業所】

意見・質問・要望等

高倉配水池の築造はいつからですか。【西根地区】

当日の回答

平成25年度着工予定です。
七ヶ宿からの配水で、白石～高倉、小原田からの水道管の布設で、まだ水道を引いていない所にも引くことができます。

今後の取組み

平成25年度で配水池の造成を行い、平成26年度に受水配水池の築造を計画しています。【水道事業所】

